学校番号	105

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新・社会と情報　（日本文教出版）						
副教材等	新・社会と情報　情報のノート　（日本文教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 課題作成の実践を通して、体験的にコンピュータ及びネットワークに関わる知識を習得する。
- 身近なツールとなった携帯電話（スマートフォン）及び、インターネットのコミュニケーションツールとの付き合い方を、授業を通して学んでほしい。

２　学習の到達目標

- 情報化が社会に及ぼす影響や課題についてメディアの特性を踏まえ理解し、情報を適切に収集・処理し、信憑性を判断し発信する力を身につける。
- 情報機器やネットワークを活用し、コミュニケーションをとりながら協力して問題を解決する力を身につける。
- 情報機器やネットワークのしくみを理解し、進展する情報社会に対応する基礎的な知識を習得する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響や課題について関心をもち，他者を尊重し，情報社会の一員として積極的に参画する態度を身につけている。	目的をもって情報を収集・分析し，論理的に思考することができるとともに，情報の受発信時には，情報モラル等の観点も含め，適切な判断ができる。	情報機器や情報通信ネットワークを活用し，状況に応じてメディアとコミュニケーション手段を効果的に使い分けながら，問題解決等に取り組むことができる。	情報機器や情報通信ネットワークを適切に活用する知識を身につけるとともに,情報および情報技術の社会的意義や役割について理解している。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 プリントの完成度 課題の完成度 発表 相互評価 自己評価	学習状況の観察 ワークシートの記述 プリントの完成度 課題の完成度 発表 相互評価 自己評価	学習状況の観察 ワークシートの記述 プリントの完成度 課題の完成度 発表 相互評価 自己評価 実技課題の完成度	学習状況の観察 ワークシートの記述 プリントの完成度 課題の完成度 発表 相互評価 自己評価 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	社会と情報とは	● 情報社会について学ぶ意義 ● 情報社会で求められる力 ● 情報モラル(自己評価) ● 基本操作と基礎知識(自己評価)	 ○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ 	a:自分の知識や技能について振り返り,適切に自己評価することができたか。 b:現在の自分の知識や技能のうち,不足しているところを把握することができたか。 c:教科書のチェックシートを活用して,自己評価に取り組むことができたか。 d:情報社会で求められる力を理解し,「社会と情報」で学ぶ意義を理解できたか。	ワークシート 学習状況の観察
1	情報社会とディジタル技術	● コンピュータとディジタルデータ ● 情報量の単位 ● ディジタルの特徴 ● 文字データの取り扱い ● 音楽プレーヤのしくみ ● 音のディジタル化 ● ディジタルカメラの仕組み ● 画像ファイル形式と動画の原理 ● インターネットの仕組み ● WWWと電子メール	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:情報量のあらわし方、ディジタルデータとアナログデータの特徴や違いに関心を持つことができたか。 b:情報を数値であらわすことで,コンピュータで処理できることの関係を考えることができたか。 c:２進法と 10 進法の相互変換をすることができたか。 d:情報を数値であらわすことのメリットや,情報をコンピュータが処理する仕組みを理解できたか。 アナログとディジタルの違いを理解することができたか。	学習状況の観察 ワークシートの記述 プリントの完成度 課題の完成度 発表 相互評価 自己評価 実技課題の完成度 定期考査の結果

2	情報社会に生きるわたしたち	● 情報社会とコミュニケーション ● インターネットの広がり ● 情報の収集と信憑性の判断 ● サイバー犯罪とその対策 ● 知的財産とその保護 ● 個人情報とプライバシー	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:インターネットを介したコミュニケーションの特性を理解した上で，基本的な注意事項に留意しようと心がけることができたか。 ・情報社会における権利や法律について関心を持つことができたか。 b:インターネットを介したコミュニケーションの特性を理解した上で，どのようなことに注意すればよいかを考えることができたか。 ・情報の信憑性を確かめる方法を検討することができたか。 ・知的財産に関する権利や個人情報を保護する目的を理解し，法律の果たす役割を考えることができたか。 c:インターネット上の主なコミュニケーションサービスを適切に活用することができる。 ・日常的な情報機器の活用できるか。 d:コミュニケーション手段の発達について理解することができたか。 ・サイバー犯罪の特徴と防止策について理解することができたか。 ・知的財産権や個人情報を保護する目的を理解できたか。	学習状況の観察 ワークシートの記述 プリントの完成度 課題の完成度 発表 相互評価 自己評価 実技課題の完成度 定期考査の結果

2	情報社会と情報システム	● 社会を支える情報システム ● 様々な情報システム ● 情報システムと商取引	○ ○ ○	○ ○	○	○ ○ ○	a:日常的に利用しているさまざまなサービスを「情報システム」として捉え，そのしくみを学ぶことができたか。 b:情報システムのはたらきと情報の流れについて考え，情報が生活を便利にしていることに気づくことができたか。 c:表計算ソフトウェアを用いた簡単なシミュレーションを行うことができたか。 d:情報システムによってもたらされる利便性や，問題があったときの影響の大きさを理解することができたか。	学習状況の観察 ワークシートの記述 プリントの完成度 課題の完成度 発表 相互評価 自己評価 実技課題の完成度 定期考査の結果
3	情報社会と情報システム 情報社会と問題解決	● 情報セキュリティ ● 情報格差 ● テクノストレス ● 問題解決	○ ○ ○ ○	○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	a:情報社会が抱える問題について関心を高めることができたか。 問題解決のプロセスに積極的に関わることができたか。 b:問題解決のためのさまざまな手法を状況に応じて使い分けることができたか。 c:さまざまな情報源から問題解決に役立つ情報を集めることができたか。 ・目的に応じて情報機器を適切に活用することができたか。 ・問題解決のための手法を適切に用いることができたか。 d:問題解決の基本的な流を理解することができたか。 表計算ソフトウェアの実習を通して，取り上げたテーマについての知識を深めることができたか。	学習状況の観察 ワークシートの記述 プリントの完成度 課題の完成度 発表 相互評価 自己評価 実技課題の完成度 定期考査の結果

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。